

## 令和3年度 第7回青森市子ども会議

- 1 日時 令和3年8月21日（土） 9時30分～12時30分
- 2 場所 青森市役所 議会棟4階 第1～第4委員会室
- 3 出席者 【青森市】会場参加：子ども会議委員8名、子どもサポーター3名、事務局6名  
オンライン参加：子ども会議委員2名  
【奈良市】子ども会議委員11名、サポーター2名、ファシリテーター2名、事務局3名
- 4 活動内容 ・奈良市とのオンライン交流会  
(1) 開会  
(2) 自己紹介、記念撮影  
(3) 奈良市の発表  
(4) グループワーク①  
(5) グループワーク①の内容を発表  
(6) 青森市の発表  
(7) グループワーク②  
(8) グループワーク②の内容を発表  
(9) 閉会  
・今後の活動について

### 5 開催概要

以前から子ども会議でやりたいこととして挙がっていた「他都市の子ども会議との交流」が、今年は奈良市と行えることになりました。コロナ禍ということもあり、オンラインで交流会を行います。

#### 開会

本市の子どもサポーターが交流会の司会を務めました。はじめに、交流会の流れとグループワークの3つの約束について説明し、交流会がスタートしました。

#### 自己紹介

まずは、交流会に参加している人全員が自己紹介をしました。

本市の小・中学生委員からは、奈良市のことはあまりわからないので、この交流会を通じて詳しくなりたいという意見のほか、高校生委員からは去年修学旅行で奈良市に行くはずだったが、新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行がなくなったので、今

回の交流が楽しかったという意見がありました。

奈良市の委員からは、青森市についてあまり詳しくないという意見がほとんどだったのでお互いについて知るいい機会になりそうだと思います。

自己紹介が終わるとスクリーンショットによる記念撮影を行いました。奈良市の委員は背景を設定している人が多く、オンライン参加に慣れている様子でした。



### 奈良市の発表

奈良市の事務局から、奈良市子ども会議の今年度の活動について説明がありました。今年度のテーマは、「みんなどうしてる？with コロナの過ごし方」で、新型コロナウイルスの感染が広がって気軽に外出などができない中で、毎日をより楽しく過ごすためのアイデアをグループごとに考えたそうです。

みんなが「おうち時間」を楽しく過ごすヒントになるように、今日発表してくれる内容を更にレベルアップして、奈良市のホームページでアイデア集として今後公開するそうなので楽しみです。

(教えてもらったお家時間の過ごし方)

#### 【A グループ】

- ・読書をする →知らない世界の主人公になれる
- ・ゲームをする →オンラインで友人と繋がれる・嫌なことを忘れる
- ・音楽を聞く →リラックス・感動できる

#### 【B グループ】

- ・生活の中にスポーツを取り入れる  
(スポーツ観戦、部活動に向けて実際に動いてみる)
- ・家族の時間を大切にする (家族と電話する、ペットと過ごす) →元気が出る
- ・手作りに挑戦する (オリジナルレシピを考えて料理する)  
→美味しいと言われると嬉しくなる

【C グループ：家で気軽に楽しくなれる】

- ・友達とチャットする →直接会わなくてもリアルタイムで連絡を取り合える  
大人数や遠くの人と繋がれる  
相手の様子が分かって自粛期間の気持ちも和らぐ
- ・筋トレをする →部活動が中止になったので筋力強化  
ドーパミンでネガティブを撃退できる  
病気の予防にもなる
- ・植物を育てる →部屋のインテリアとしても置ける  
気持ちがリラックスするし愛着がわく  
(おすすめ：水につけるだけで育つアボカド、育ちやすい豆苗、  
ロシアンルーレットみたいなドキドキが味わえる青唐辛子、  
簡単に収穫できる落花生)

【D グループ：退屈しないお家時間】

- ・友達と話す (LINE 通話) →時間や使用料金を気にせず通話ができる  
話題を共有して笑い合えるため気持ちが明るくなる
- ・好きなものを一気に見る →全力で漫画やアニメ、本などを楽しむことで退屈な  
時間を面白い時間に変える
- ・筋トレでみんなムキムキ →適度な運動で気分転換  
休みを利用して部活動の仲間と差をつける  
友達に筋肉を自慢してびっくりさせる

〈アイデア集を見てくれる人へのメッセージ〉

- ・普段の生活の質を変えて、こんな日々だからこそ楽しもう。
- ・見てくれた人が「コロナを乗り切ろう！」という気持ちになってほしい。
- ・つらい時期かもしれないけど、家でできることで楽しんでストレスを解消しよう。
- ・不安な日々が続きますが、リフレッシュしてこんな日々だからこそ楽しもう。
- ・実践して楽しんでみてください！

複数のグループから挙げられたアイデアは「筋トレ」や「家族や友人と話す」でしたが、各グループによって「筋トレ」を「ムキムキ」と言ったり、テーマごとにアイデアをまとめたりなど、表現方法にも個性が出ていました。



## グループワーク①

続いて、3グループに分かれてグループワークを行いました。グループワークの司会は、Aグループを奈良市の準ファシリテーターが、BグループとCグループは青森市の子どもサポーターが務めました。

それぞれのグループで、青森市の委員が奈良市の発表を聞いた感想や自分たちのコロナ禍での過ごし方について発言した後、奈良市の委員と一緒にコロナで変わったことや過ごし方の工夫などを話し合いました。

## グループワーク①の内容を発表

各グループで話し合われた内容をまとめ、各グループの青森市の委員が発表しました。

### 〈主な意見〉

- 奈良市の発表を聞いて
  - ・様々な意見があって参考になった。
  - ・おすすめしていたアボカドを育ててみたいと思った。
  - ・奈良市のほうがコロナの状況は大変だと感じた。
- コロナで変わったこと
  - ・旅行や外出が減った。
  - ・学校行事の規模が縮小された。
  - ・テレビ、ゲーム、スマホ時間が増えた。

その後、奈良市のファシリテーターの浜田先生からコメントをいただきました。

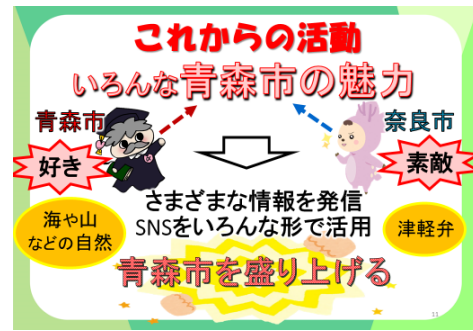
奈良市では、コロナ感染拡大という暗い話題の中、ホームページなどの画面の向こうにいる子たちに元気が出るメッセージを伝えたいということで活動してきました。

新型コロナウイルス感染症が発生したからこそ、オンラインという形で交流し、奈良市の活動の成果や青森市と奈良市の違いについてなど意見交換することが出来ました。子どもたちが広い視野で学び合える良い機会だったと感じています。

## 青森市の発表

休憩をはさみ、青森市からは、今年度の活動テーマである「青森市の魅力再発見！」としてこれまで活動してきた内容について発表しました。

夏休み中には青森市の観光スポットの撮影も行ったので、それらの紹介も合わせて行いました。



## グループワーク②

先ほどと同じグループに分かれて、2回目のグループワークを行いました。今回は、奈良市の委員から青森市の発表に関する感想をもらい、青森市のイメージなどについて話し合いました。また、時間に余裕のあったグループは、お互いの市について気になっていたことなどを意見交換しました。

## グループワーク②の内容を発表

各グループで話し合われた内容をまとめ、各グループの奈良市の委員から発表がありました。

### 〈主な意見〉

- 青森市の発表を聞いた感想や青森市のイメージ
  - ・教科書に載っている遺跡があることを知って、青森に行きたくなった。
  - ・りんごの生産量が日本一とは知っていたが、ブラックベリーの実産量も1位とは知らなかった。
  - ・ねぶた祭やまぐろのイメージが強かった。
- 青森市の委員に聞いてみたこと
  - ・冬は寒い？雪が降ったら体育とかどうなるの？
  - ・遺跡はどれくらいの大きさなの？

グループワークでは、青森市はやはり「りんご」や「ねぶた」のイメージが強いことを実感しましたが、他の魅力もあることを伝えることが出来ました。いろいろな魅力を伝えることができたので、奈良市の委員から「行ってみたい」という声を多く聞くことができました。

また、青森市の委員に聞いてみたことでは、雪や冬の寒さなどについての質問が多かったです。青森市の子ども会議委員から「ふぶきも体験してみて」という提案がありましたが、奈良市の委員から「ふぶきってなに？」という反応があり、吹雪がすぐに思い浮かばなかったことに青森市の委員は驚いていました。奈良市にはスキー場もないら

しく、両市の気候の違いを発見することができました。

反対に、奈良市の魅力も教えてもらいました。奈良市は「鹿」や「大仏」のイメージが強かったですが、梅やみかん、柿が有名なこと、あまり知られていないけど大和茶という名産品があること、祭りではおん祭りがあることなどを教えてもらいました。

お互いに初めて知ることが多く、お互いの市に対するイメージが変わりました。

## 閉会

最後に奈良市のファシリテーターから今日の交流会についてコメントをいただき、両市から一人ずつ感想を発表しました。

### ファシリテーターのコメント

今回の奈良市と青森市の交流会は、いろんなことが新型コロナの影響で出来なくなりましたが、同時にオンラインが普通になったことで開催することが出来ました。

奈良市と青森市の良さについて話し合えたことで、これまでの固まったイメージではなく、両市の多様な魅力に気づくことが出来たと思います。

今日みなさんが話し合ったことは、まちづくりにもつながるし、自分たちの市がどう見られているのか気づくチャンスにもなったことでしょう。

有意義な時間をありがとうございました。

### 委員の感想

奈良市：青森市のことは全然知らなかったけど、観光名所とかいろいろなことを知ることが出来て楽しかったです。

青森市：青森市にはない奈良市の魅力を知ることが出来たし、最後には奈良市のみなさんとも緊張しないで話し合えるようになりました。お互いに子どもの立場から、市をもっと盛り上げていきたいと思っています。

オンラインで交流会というあまり慣れない状況でしたが、臨機応変に対応することができて、無事に終了となりました。とても貴重で良い体験だったと思います。

奈良市のみなさん本当にありがとうございました。

## 今後の活動について

奈良市とのオンライン交流会が無事に終わり、今後の子ども会議について事務局から説明がありました。

今後は11月の子ども会議フォーラムに向けた活動と、子どもの権利擁護委員による子どもの権利に関する講義を受ける予定です。

